



県大会での気迫に満ちた放水（第11分団第11部）



～熱き火消し魂～

自分のまちは、自分で守る

消防団は市町村の消防機関です。団を構成する消防団員は常勤の消防職員とは異なり、普段は仕事を持つ社会人や学生などです。

しかし火災や災害発生時には、「自分のまちは、自分で守る」という精神のもと、地域の防災リーダーとして火災・災害現場に出動し、消火活動などを行います。地元の地理や情報に詳しい消防団員は、地域の安心と安全のため、なくてはならない存在です。

どんな活動をしているの？

日ごろから訓練を重ねて災害時に備え、平常時も地域のためにさまざまな活動をしています。

災害時

消火活動

防災活動

避難誘導

平常時

防火啓発活動

消火・防災訓練

応急手当の指導

消防団員募集中！

市内在住・在勤などの18歳以上で、熱意ある健康な人なら誰でも入団できます。会社員・自営業者・主婦など、幅広い職業や年代の人が活躍中。災害からまちを守るには多くの人の力が必要にもかかわらず、団員不足は深刻です。

地域防災のため、自分たちの手で地域や家族、仲間を守りませんか。消防団に興味や関心のある人は、下記までご連絡ください。
團防災課防災班（☎内線454）。



まちを守る真剣なまなざし
(印旛支部大会での第3分団第8部)

消防技術を競う大会開催

消防団員が消防技術の基本動作を実演し、訓練の成果を発表する「消防操法大会」が今年も開催されました。

大会では、防火水槽から火災現場を想定した的（火点）までホースをつないで放水。的を倒すまでの時間と、現場撤収までの規律正しい操作を競います。この大会への出場は技術向上と士気高揚につながり、地域の防災体制を強化します。

使命感を持って大会出場

印西市消防団は県大会への出場をかけ、6月28日に印旛支部消防操法大会に出場。結果、「小型ポンプの部」で第11分団第11部（吉田区）が優勝、「ポンプ車の部」では第3分団第8部（六軒・七畝割地区）が健闘しました。

そして各地区を勝ち抜いた消防団が集った千葉県消防操法大会は、7月25日に千葉県消防学校（千葉市）で開催。第11分団第11部は印旛支部の代表として出場し、うだるような暑さの中、きびきびとした動作を披露し、努力賞（6位）に輝きました。

市を代表した2チームは、使命感を持って日夜厳しい訓練を重ね、大会でその成果を遺憾なく発揮しました。

⚠️ 電気柵との接触にご注意ください

市では、近年のイノシシによる農作物被害防止のため、各地域で電気柵を設置しています。電線に動物が触れると瞬間的にショックがかり、耕作地への侵入を防ぐものです。

市が導入している電気柵はバッテリー式で、法令に基づいて適切に設置しており、通常の使用方法であれば問題ありません。しかし見かけても電線にむやみに近づかないでください。特に、小さなお子さま連れの人や高齢の人、体に疾患のある人は、十分に気を付けてください。ペットと散歩する人も、ペットが電線に近付かないようご注意ください。

また、万が一イノシシに出会った場合は、大声を出したり物を投げるなど刺激せず、慌てずにイノシシから見えないうちに避難してください。

電気柵を設置・使用する時は

- 電線のたるみや切断がないか定期的に見回り、適正に管理してください。
- 個人で設置する場合は、取扱説明書に従い、正しい方法で設置してください。
- 絶対に電源（コンセント）から直接つながないでください。漏電や火災などの危険があります。
- 電気柵の部品を自作・改造することは危険です。
- 個人で電気柵を設置している人は、下記までご連絡ください。
團農政課農政班（☎内線372）。



電気柵には危険表示があります

＼とれたて！シャリッとさわやか！ いんざいの梨2015

今年もいよいよ梨の収穫時期がやってきました。全国屈指の生産量を誇る千葉県の梨。中でも水や大地、自然の恵みあふれるいんざいでは、泉、草深、武西地区を中心に栽培されています。

今の時期は、甘みが強くみずみずしい、幸水が旬。一口ごとにさわやかな果汁が口の中に広がります。今月下旬から9月にかけては、程よい甘みと酸味があり大ぶりの豊水が旬を迎えます。

いんざいの梨は、今月中旬から市内農産物直売所などで販売。今年ならではの新鮮な地元の味わいを、ぜひご賞味ください。
團農政課振興班（☎内線377）。



冷やすと甘くなります